

人口推計について

2015年～2024年の狭山市全体の0～11歳人口の推移は図1の通りです。

人口推計にあたっては、国が提供する人口推計シート（次世代育成支援のための市町村行動計画 将来人口推計のためのワークシート、住民基本台帳人口・標準用）を利用していますが、本ワークシートは、「住民基本台帳人口」および「外国人登録人口」を用い、「コーホート変化率法」で推計を行うもので、平成26年から平成30年の各4月1日時点での各歳別・男女別人口、平成26年から平成29年の暦年における母親年齢5歳階級別（15歳～49歳）の総出生数、平成26年から平成29年の暦年の男女別出生数を用いて作成されます。

また、0歳児の人口推計については、以下の数値を使っています。

(ア) 全市の母親年齢5歳階級別の出生数 (2018年まで)	① 2017 (H29) 年までは県の保健統計に示された実績値（年間値） ② 2018 (H30) 年は、コーホート変化率法で得られる各年の5歳階級別の母親人口に、5歳階級別の出生率（※）を乗じて算出 ※出生率は2015 (H27) ～2017 (H29) 年の平均値を採用 ③ 2018 (H30) 年の男女比は、2015 (H27) ～2017 (H29) 年の出生児における男女比の平均値により案分
(イ) 地区別の母親年齢5歳階級別の出生数 (2018年まで)	(ア) で求めた全市の出生数を、地区別の人口比で按分
(ウ) 地区別の母親年齢5歳階級別の出生率	2018年までは(イ) で求めた地区別の出生数と地区別の実績人口から算出 2019年からは、2016～2018年の平均値を採用
(エ) 母親年齢5歳階級別の推計人口(10月1日時点)	当年と翌年の4月1日時点の人口の平均値を採用（国推奨のとおり）
(オ) 出生数と0歳児人口の変化率	2018年までは計算値 2019年からは、2016～2018年の平均値を採用

【コーホート変化率法】

あるコーホート（同時出生集団）の一定期間における人口の変化率に着目し、その変化率が対象地域の年齢別人口変化の特徴であり、将来にわたって維持されるものと仮定して、将来人口を算出する方法。例えば、ある年の20～24歳人口は5年後には25～29歳に達するが、その間の人口変化率を将来にわたって20～24歳世代が25～29歳に移行する間の変化率に適用し、将来人口を推計する方法。

人口（人）

15,000

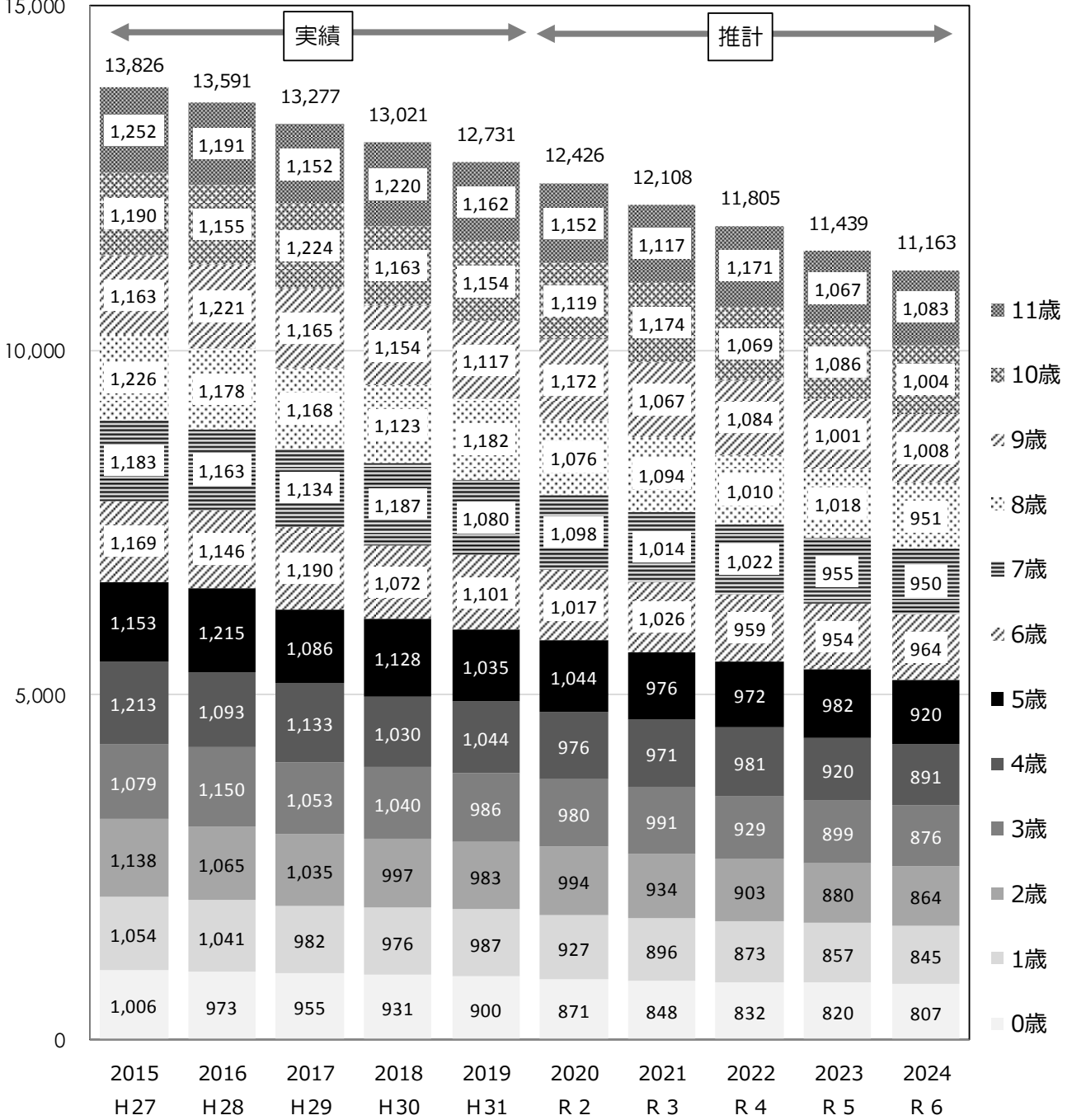


図1 2015年から2024年の狭山市の0～11歳人口の推移